

令和5年度事業計画

公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

1 基本方針

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会、全国高等学校総合体育大会、ワールドマスターズゲームの開催など、本県を取り巻くスポーツ環境が大きく飛躍的に変化する重要な時期を迎えている。

こうした大規模大会が連続して開催されるこの複数年を、スポーツに触れ、その魅力を一層感じることが出来る機会として捉え、本県スポーツの振興に努める。

競技力の総合的な向上については、「滋賀県競技力向上対策本部」に引き続き役・職員の派遣を行い、県と共同で選手強化事業を推進するとともに、選手の計画的な発掘・育成・強化への支援を図るため、次世代アスリート発掘育成事業に取り組む。

生涯スポーツの推進については、人口減少社会を迎えた中で、スポーツの力で滋賀を元気にし、「活力あるスポーツ健康しが」の実現に向けて、地域スポーツの活動支援、魅力あるスポーツイベントの実施等、各種スポーツ振興事業を積極的に推進する。

また、「第5次中期経営計画（2019年度～2024年度）」の目標達成に向けて効率的・効果的な事業運営に取り組む。

2 事業計画

(1) 県民にスポーツの機会を提供する事業

ア ラジオ体操普及推進事業

「いつでも、どこでも、だれでも」できる健康体操として国民の間に広く定着している「ラジオ体操」の普及を図る。

イ 広報・情報提供事業

スポーツ情報誌「B i s p o + !」を年3回発行するほか、報道機関に対するパブリシティ活動を強めるとともに、営業活動を強化し、県立スポーツ施設の多様な利用方法を紹介するなど利用促進に努める。

ウ 表彰事業

本県スポーツの普及振興に功績顕著な者ならびに競技力向上に貢献した個人・団体を表彰する。

エ チーム滋賀応援プロジェクト事業

「TEAM SHIGA」ポロシャツの売り上げの一部を小学校等へのスポーツ用具の提供に充てる。

オ 障害者スポーツ振興交付金事業

障害者スポーツアドバイザー設置事業、生涯スポーツ事業等

カ 県小学校記録会補助事業（県水泳記録会・県陸上記録会）

(2) 各種スポーツ大会を通じスポーツの社会的な価値を創造する事業

ア 県民総スポーツの祭典（実行委員会による開催）

県民参加型の事業として、県とともに7部門を実施

イ びわ湖駅伝スポーツフェスティバル2023

ウ びわ湖マラソン2024（実行委員会による開催）

エ 元気キッズ応援チャリティーコンペ

(3) 地域スポーツの促進支援事業

ア スポーツ少年団育成事業

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、県本部・市町本部・指導者協議会・競技団体との連携を図りながら、スポーツ少年団組織および運営の充実に努める。

特に、「アクティブ・チャイルド・プログラム（以下、ACPという。）」の普及と新しい指導者制度に基づくスタートコーチ（スポーツ少年団）の養成に努める。

(ア) 組織充実事業

(イ) 育成事業

(ウ) 交流会開催・派遣事業

(エ) ACP普及促進事業

イ 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

各市町と連携し、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援するとともに、地域に密着した総合型地域スポーツクラブとしての機能を高め、継続してスポーツに親しめる環境の整備に努める。

(ア) 組織内組織として「滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」の設置・運営

(イ) 広域スポーツセンター運営事業（県受託事業）

(ウ) 中間支援組織運営事業（登録・認証制度運用事業）

ウ スポーツ指導者の育成・活用促進事業

(ア) スポーツ指導者情報提供システム

(イ) 公認スポーツ指導者養成事業

(ウ) 2025滋賀国スポ記念講演会

(エ) 滋賀スポーツコーチバンク事業（県受託事業）

エ 企業との協働事業

(ア) 表彰事業

(イ) 選手支援事業

オ 大学連携事業

カ その他事業

(ア) 公認スポーツ施設運営士養成講習会

(イ) 滋賀県スポーツ団体等新型コロナウイルス感染症対策支援事業（県受託事業）

(4) 競技力の総合的な向上に関する事業

ア スポーツ育成・強化対策事業

本県の競技力を総合的に向上させるため、競技団体の育成強化、ジュニア世代の育成、優秀指導者の育成を柱として各種事業の推進に努める。

(ア) 競技団体の育成強化

(イ) ジュニア世代の育成強化

(ウ) 優秀指導者の育成

イ 国民体育大会等派遣事業

国内最大・最高の総合スポーツ大会であることから、その大会実施要項に基づき、国民体育大会、同近畿ブロック大会に選手・監督を派遣する。

(ア) 特別国民体育大会派遣事業（鹿児島県で開催）

(イ) 近畿ブロック大会派遣事業（兵庫県を中心に開催）

(5) 県立スポーツ施設の管理運営事業（指定管理）

指定管理者として、県立スポーツ施設 9 施設の適切な管理運営に努めるとともに、利用者のサービス向上に努める。

(6) 事業・組織の運営

各専門委員会を中心に事業の企画・立案はもとより、必要に応じて検討委員会等を設置し、具体的な事業目標や実施方法を確立し、事業内容・規模のさらなる充実に努める。

一方、安定した財政基盤の確立を図るためにも、各種事業を広く県民にアピールし、理解と支援を得ることが重要であることから、協会事業の積極的なPR活動に努め、行政機関や企業・個人などを対象に賛助会員の募集・拡充に努める。

ア 主体的・自主的な法人の経営

(ア) 専門委員会の開催

(イ) 経営改善会議（各指定管理施設長会議）

(ウ) コンプライアンス委員会

(エ) 県民総スポーツ普及振興事業評価委員会

(オ) 国民体育大会結団・壮行式

(カ) 国民体育大会報告会・スポーツ協会表彰式

(キ) 加盟団体育成・サポート事業

(ク) 賛助会員の拡充

(ケ) その他（日本スポーツ協会諸会議、近畿 2 府 4 県諸会議、要望活動等）

イ 協会運営等諸会議

(ア) 理事会（3 回）

(イ) 評議員会（2 回）

(ウ) 加盟団体理事長・事務局長会議

(エ) 加盟団体研修会

ウ 持続可能な財政基盤の確立

事業を継続的に見直し、より少ない事業費でより大きな効果を上げる「選択と集中」による経営に取り組む。

エ 組織力の向上と人材の育成

全職員対象の研修会を開催するなど、組織の目標、意思決定、健全なコンプライアンス体制を組織全体で共有し、的確に業務に反映する。

オ 創立 100 周年記念事業に向けた取組

滋賀国スポ・障スポ大会が 1 年延期になったことを受け、令和 8 年に当協会の 100 周年記念事業を開催する予定とし、これに向けた情報および記録の収集に取り組む。

収 支 予 算 書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	268	474	△	206
特定資産運用益	2,338	2,338		—
受取会費	6,600	6,600		—
事業収益	298,846	334,271	△	35,425
受託事業収益	383,418	294,326		89,092
登録料収益	11,391	12,153	△	762
受取補助金等	780,367	549,942		230,425
受取負担金	390	390		—
受取寄付金	430	380		50
受取交付金	1,314	345		969
雑収益	3	3		—
経常収益計	1,485,365	1,201,222		284,143
(2) 経常費用				
事業費	1,533,662	1,182,868		350,794
管理費	16,249	15,804		445
経常費用計	1,549,911	1,198,672		351,239
(うち人件費)	446,411	358,113		88,298
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 64,546	2,550	△	67,096
評価損益等計	—	—		—
当期経常増減額	△ 64,546	2,550	△	67,096
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
引当金取崩額	1,575	997		578
経常外収益計	1,575	997		578
(2) 経常外費用				
経常外費用計	—	—		—
当期経常外増減額	1,575	997		578
税引前当期一般正味財産増減額	△ 62,971	3,547	△	66,518
法人税等	282	2,974	△	2,692
当期一般正味財産増減額	△ 63,253	573	△	63,826
一般正味財産期首残高	280,480	270,294		10,186
一般正味財産期末残高	217,227	270,867	△	53,640

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	232	410	△ 178	
特定資産運用益	3	3	—	
一般正味財産への振替額	△ 13,259	△ 12,603	△ 656	
当期指定正味財産増減額	△ 13,024	△ 12,190	△ 834	
指定正味財産期首残高	152,469	160,636	△ 8,167	
指定正味財産期末残高	139,445	148,446	△ 9,001	
III 正味財産期末残高	356,672	419,313	△ 62,641	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	134	—	134	—	268
特定資産運用益	5	1,000	1,333	—	2,338
受取会費	3,300	—	3,300	—	6,600
事業収益	273,322	25,524	—	—	298,846
受託事業収益	382,357	1,061	—	—	383,418
登録料収益	11,391	—	—	—	11,391
受取補助金等	775,251	—	5,116	—	780,367
受取負担金	390	—	—	—	390
受取寄付金	430	—	—	—	430
受取交付金	1,314	—	—	—	1,314
雑収益	3	—	—	—	3
経常収益計	1,447,897	27,585	9,883	—	1,485,365
(2) 経常費用					
事業費用	1,507,819	25,843	—	—	1,533,662
管理費	—	—	16,249	—	16,249
経常費用計	1,507,819	25,843	16,249	—	1,549,911
(うち人件費)	434,225	6,618	5,568	—	446,411
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 59,922	1,742	△ 6,366	—	△ 64,546
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 59,922	1,742	△ 6,366	—	△ 64,546
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
引当金取崩額	1,282	273	20	—	1,575
経常外収益計	1,282	273	20	—	1,575
(2) 経常外費用					
経常外費用計	—	—	—	—	—
当期経常外増減額	1,282	273	20	—	1,575
他会計振替額	736	△ 7,136	6,400	—	—
税引前当期一般正味財産 増減額	△ 57,904	△ 5,121	54	—	△ 62,971
法人税等	—	282	—	—	282
当期一般正味財産増減額	△ 57,904	△ 5,403	54	—	△ 63,253
一般正味財産期首残高	△ 13,304	130,556	163,228	—	280,480
一般正味財産期末残高	△ 71,208	125,153	163,282	—	217,227

科	目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
Ⅱ	指定正味財産増減の部					
	基本財産運用益	116	—	116	—	232
	特定資産運用益	3	—	—	—	3
	一般正味財産への振替額	△ 13,143	—	△ 116	—	△ 13,259
	当期指定正味財産増減額	△ 13,024	—	—	—	△ 13,024
	指定正味財産期首残高	112,469	—	40,000	—	152,469
	指定正味財産期末残高	99,445	—	40,000	—	139,445
Ⅲ	正味財産期末残高	28,237	125,153	203,282	—	356,672

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

令和4年度事業報告

公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

令和7年に滋賀県で開催される「第79回国民スポーツ大会(以下「滋賀国スポ」という。）・第24回全国障害者スポーツ大会」の会期が決定し、大会ムードが高まってきている。

両大会の開・閉会式会場となる「平和堂HATOスタジアム」や競技会場の「滋賀ダイハツアリーナ」が完成し、県内のスポーツ施設整備もすすんでいる。

新型コロナウイルス感染症に伴う、様々なスポーツ活動の制約も徐々に緩和され、県立スポーツ施設の利用者や事業参加者も以前に戻りつつある。スポーツを取り巻く環境が大きく変化する中、本県のスポーツを統括する組織としてその中心的な役割を担うため、県および(公財)日本スポーツ協会と連携・協力し、関係団体や関係機関への情報提供や、活動再開・充実に向けた支援を行った。

生涯スポーツの推進では、「びわ湖毎日マラソン」、「びわ湖レイクサイドマラソン」の伝統を受け継ぐ「びわ湖マラソン2023」を、県や(一財)滋賀陸上競技協会、関係各市と協力して新たに開催し、7,263名のエントリーがあった。

競技力の向上では、本大会としては3年ぶりに栃木県で国民体育大会が開催され、422名の滋賀県選手団を派遣した。滋賀国スポを見据えた強化事業に取り組み、男女総合(天皇杯)20位の結果であった。強化事業として特別指導員配置事業を実施し「滋賀国スポ」で活躍が期待される選手を採用することで、成年選手の強化に取り組んだ。また、ジュニア選手の強化事業として高校生トップアスリート支援事業を実施し、滋賀国スポで活躍する少年選手の活動支援を行った。

県から指定管理として受託している県立スポーツ施設9施設については、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、安全・安心な施設管理・運営に努めた。

1 県民にスポーツの機会を提供する事業

(1) ラジオ体操普及推進事業

気軽に体操を実施することができるきっかけづくりや実施環境の整備に向けて取り組んだ。

11月1日「ラジオ体操の日」には、関西みらいローイングセンターやウカルちゃんアリーナ、オセアンBCスタジアム彦根、長浜バイオ大学ドームの自主事業(グラウンド・ゴルフ教室等)で参加者の準備運動として実施した。活動の様子は、当協会スポーツ情報誌「B i s p o ! +」に掲載して取組を紹介した。

(2) 広報・情報提供事業

スポーツ情報誌「B i s p o ! +」を年3回発行するほか、報道機関に対するパブリシティ活動を強めた。

スポーツ情報誌「B i s p o ! +」 年間3回 各18,000部

ホームページバナー広告 通 年 6社

「総合型クラブナビ」の発行 年間1回 300部

FM滋賀番組情報提供事業 毎週金曜日のワイド番組「DIVER」 約10分間放送

(3) 表彰事業

本県スポーツの普及振興に功績顕著な者ならびに競技力向上に貢献した個人・団体を表彰した。

スポーツ功労賞10人、スポーツ奨励賞18人、優秀指導者賞2人、生涯スポーツ賞3人、
 スポーツ優良団体5団体 合計 個人33人 5団体

(4) チーム滋賀応援プロジェクト事業

ポロシャツの売上げの一部を「元気キッズ応援チャリティーコンペ」の収益と合わせて、県内の子どもたちのスポーツ環境づくりの一助となるよう、小学校等へのスポーツ用具提供を行った。

(5) 障害者スポーツ振興交付金事業

(一社) 滋賀県障害者スポーツ協会が実施するアドバイザー設置事業、生涯スポーツ振興事業、競技スポーツ振興事業、指導者養成事業を支援した。

(6) 県小学校記録会補助事業 (県水泳記録会・県陸上記録会)

水泳記録会 中止

陸上記録会 参加者数 300人

2 各種スポーツ大会を通じスポーツの社会的な価値を創造する事業

(1) 県民総スポーツの祭典 (実行委員会による開催)

県民参加型の事業として、県とともに7部門を実施

ア 第75回県民体育大会の部	参加者数	23,049人
イ スポーツ・レクリエーション大会の部	参加者数	3,647人
ウ レクリエーション大会の部	参加者数	345人
エ 県内総合型地域スポーツクラブ交流大会の部	参加者数	346人
オ びわ湖駅伝スポーツフェスティバルの部	参加者数	982人
カ 県障害者スポーツ大会の部	参加者数	814人
キ びわ湖マラソンの部	参加者数	7,263人
(2) びわ湖駅伝スポーツフェスティバル2023	参加者数	952人
(3) 元気キッズ応援チャリティーコンペ	年間2回	89人

3 地域スポーツの促進支援事業

(1) スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団のスポーツによる青少年育成の理念を明確に発信するとともに、団員数の減少傾向に対応するため、市町の取組について情報交換を図るなど、加入促進に努め、豊かなスポーツライフの基礎となるスポーツ少年団の組織および運営の充実に努めた。

令和4年度加入状況 19市町 392団体 団員11,855人 指導者・役員・スタッフ 3,310人

ア 組織充実事業

指導者協議会研修大会	参加者数	110人
滋賀県リーダー会県内中学生交流会	参加者数	8人
スタートコーチ養成講習会	参加者数	176人
女性のつどい	参加者数	74人
滋賀県リーダー会他府県交流会	参加者数	12人

イ 育成事業

滋賀県スポーツ少年団表彰式	表彰者	32人 10団
育成母集団研修大会	参加者数	75人

ジュニア・リーダースクール	団員	14人
市町スポーツ少年団育成補助事業		4事業
ウ 交流会開催事業		
第55回滋賀県スポーツ少年大会	団員	48人
第54回近畿スポーツ少年大会	団員10人 リーダー1人 指導者1人	
第49回日独同時交流事業	滋賀県参加者なし	
エ ACP普及促進事業		
都道府県普及促進研修会	参加者数 11人 指導者 3人 運営委員 2人	
県内普及活動	6会場 254人	

(2) 広域スポーツセンターによる総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

各市町と連携し、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援するとともに、地域に密着した総合型地域スポーツクラブとしての機能を高め、継続してスポーツに親しめる環境の整備に努めた。

ア 広域スポーツセンター運営事業（県からの受託事業）

総合型地域スポーツクラブおよび市町巡回指導・調査 19市町すべて訪問 訪問回数91回

総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 131人

地域スポーツ指導者研修会 46人

日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成コース 20人

プレイリーダー養成講習会 40人

イ 中間支援組織運営事業（登録・認証制度運用事業）

登録・認証制度の開始により登録審査会を実施し、県内55クラブ中25クラブが登録クラブとして認証された。

(3) スポーツ指導者の育成・活用促進事業

ア 公認スポーツ指導者への情報提供システム

イ 公認スポーツ指導者資格更新研修会

(4) 2025滋賀国スポ記念講演会 参加者数 137人

(5) 企業との協働事業

ア 表彰事業

イ 選手支援事業

(6) 大学連携事業

ア インターンシップの受入

イ 県内大学連携

(7) その他事業

ア スポーツ施設運営士養成講習会 参加者数 20人

イ 滋賀県スポーツ団体等新型コロナウイルス感染症対策支援事業（県からの受託事業） 171件

4 競技力の総合的な向上に関する事業

(1) スポーツ育成・強化対策事業

ア 競技団体の育成強化

滋賀国スポを契機として県内競技団体の競技力向上につながる事業に取り組んだ。県競技力向上対策本部へ本協会役・職員の派遣を行うことで、これまで本協会が培ってきた競技団体との連携や競技力向上対策等

に係る経験と実績を活かし、競技力分析および競技力向上対策事業を実施した。

(7) スポーツ特別指導員配置事業

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを「スポーツ特別指導員」として滋賀県スポーツ協会で8人を雇用し、拠点校等において県内選手の育成・指導に従事するとともに、滋賀県選手として自らの競技力向上に努め、各大会に出場した。

(4) 高校生トップアスリート支援事業

本県の代表として活躍が期待できる競技力の高い選手を令和4年度19人指定し、競技活動を支援することを目的として補助金を交付した。

イ ジュニア世代の育成

(7) 次世代アスリート発掘育成プロジェクト 滋賀レイキッズ（県受託事業）

次世代のトップアスリート育成を目指し、運動能力に優れた子供たちを発掘し、身体能力・知的能力の開発や様々な競技体験を通じ、トップアスリートを目指すジュニア選手を育成する事業に取り組んだ。

(4) 湖上スポーツ育成・強化対策事業

ボート・カヌー競技	計4事業	開催延回数	456回	参加延人数	3,238人
セーリング競技	計1事業	開催延回数	5回	参加延人数	40人

ウ 優秀指導者の育成

(7) 公認コーチ1養成講習会（ソフトボール） 参加者53人

(4) 公認コーチ1養成講習会（バレーボール） 参加者18人

5 国民体育大会派遣事業

(1) 国民体育大会選手等派遣事業

ア 第77回国民体育大会派遣（栃木県）

男女総合成績	20位	天皇杯得点	1096.5点
女子総合成績	24位	皇后杯得点	608点

イ 特別国民体育大会冬季大会派遣（青森県・岩手県）

（冬季大会終了時点）

男女総合成績	25位	天皇杯得点	49点
女子総合成績	23位	皇后杯得点	28点

(2) 国民体育大会近畿ブロック予選大会派遣事業

ア 近畿ブロック大会（京都府）

種目数	124
突破数	45
突破率	36.3%

イ フィギュア競技 全国予選会（少年女子）国体出場権獲得

ウ アイスホッケー競技 北信越・東海・近畿ブロック予選会（少年男子）国体出場権獲得

6 県立スポーツ施設の管理運営事業（指定管理）

新型コロナウイルス感染症対策の見直しに伴う施設の利用制限緩和に伴い、ウカルちゃんアリーナ、武道館、関西みらいローイングセンター、長浜バイオ大学ドーム、アイスアリーナで利用者の増加がみられた。スポーツ会館では継続してトレーニングルームや宿泊室の制限を設けたため、令和3年度に比べ微減し、工事に伴う利用

制限があったオセアンBCスタジアム彦根および栗東体育館では利用者が減少した。柳が崎ヨットハーバーでは、全日本インカレが開催されたことにより大幅に増加した。

県立スポーツ施設利用人数（9施設） 571,418人

7 事業・組織の運営

各専門委員会を中心に事業の企画・立案はもとより、必要に応じてワーキンググループや検討委員会等を設置し、具体的な事業目標や実施方法を確立し、事業内容・規模のさらなる充実に努めた。

一方、安定した財政基盤の確立を図るためにも、各種事業を広く県民にアピールし、理解と支援を得ることが重要であることから、協会事業の積極的なPR活動に努め、行政機関や企業・個人などを対象に賛助会員の募集・拡充に努めた。

(1) 主体的・自主的な法人の経営

ア 専門委員会の開催

総務委員会、スポーツ基金委員会、広報委員会、生涯スポーツ委員会（常任委員会）

イ 経営改善会議（各指定管理施設長会議）

ウ コンプライアンス委員会

エ 県民総スポーツ普及振興事業評価委員会

オ 国民体育大会結団・壮行式

カ 国民体育大会報告会・スポーツ協会表彰式

キ 加盟団体育成・サポート事業

ク 賛助会員の拡充 222会員

ケ その他事業（日本スポーツ協会諸会議、近畿2府4県諸会議、要望活動等）

(2) 協会運営等諸会議

ア 理事会 4回（書面による開催含む）

イ 評議員会 2回

ウ 理事長・事務局長会議 出席者98人

エ 加盟団体研修会 出席者96人

(3) 安定した財政基盤の確立

自己財源の充実を図るため、スポーツ事業参加料収益や事業協賛収益、賛助会費などの収入確保に努めた。

正味財産増減計算書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	474,000	474,000	-
特定資産運用益	2,338,645	2,341,475	△ 2,830
受取会費	6,212,000	6,313,000	△ 101,000
事業収益	290,167,105	268,428,631	21,738,474
受託事業収益	315,154,085	330,629,281	△ 15,475,196
登録料収益	11,149,800	11,738,700	△ 588,900
受取補助金等	522,537,591	346,208,997	176,328,594
受取負担金	200,000	-	200,000
受取寄付金	404,456	733,910	△ 329,454
受取交付金	556,550	352,500	204,050
雑収益	1,782	1,688	94
経常収益計	1,149,196,014	967,222,182	181,973,832
(2) 経常費用			
事業費	1,141,696,235	944,057,266	197,638,969
管理費	15,587,577	13,886,368	1,701,209
経常費用計	1,157,283,812	957,943,634	199,340,178
(うち人件費)	352,292,799	333,270,117	19,022,682
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,087,798	9,278,548	△ 17,366,346
評価損益等計	△ 2,602,000	△ 3,117,000	515,000
当期経常増減額	△ 10,689,798	6,161,548	△ 16,851,346
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
引当金戻入益	-	1,537,005	△ 1,537,005
経常外収益計	-	1,537,005	△ 1,537,005
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	1	-	1
退職給付引当金繰入	903,515	-	903,515
過年度損益修正損	360,000	-	360,000
経常外費用計	1,263,516	-	1,263,516
当期経常外増減額	△ 1,263,516	1,537,005	△ 2,800,521
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,953,314	7,698,553	△ 19,651,867
法人税等	2,013,200	2,449,400	△ 436,200
当期一般正味財産増減額	△ 13,966,514	5,249,153	△ 19,215,667
一般正味財産期首残高	280,478,914	275,229,761	5,249,153
一般正味財産期末残高	266,512,400	280,478,914	△ 13,966,514
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	-	1,000,000	△ 1,000,000
基本財産運用益	410,800	410,800	-
特定資産運用益	1,358	1,557	△ 199
過年度損益修正益	360,000	-	360,000
一般正味財産への振替額	△ 11,930,158	△ 9,579,357	△ 2,350,801
当期指定正味財産増減額	△ 11,158,000	△ 8,167,000	△ 2,991,000
指定正味財産期首残高	152,468,050	160,635,050	△ 8,167,000
指定正味財産期末残高	141,310,050	152,468,050	△ 11,158,000
III 正味財産期末残高	407,822,450	432,946,964	△ 25,124,514

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	237,000	—	237,000	—	474,000
特定資産運用益	5,131	1,000,137	1,333,377	—	2,338,645
受取会費	3,106,000	—	3,106,000	—	6,212,000
事業収益	251,680,047	38,487,058	—	—	290,167,105
受託事業収益	302,289,952	12,864,133	—	—	315,154,085
登録料収益	11,149,800	—	—	—	11,149,800
受取補助金等	517,658,602	—	4,878,989	—	522,537,591
受取負担金	200,000	—	—	—	200,000
受取寄付金	404,456	—	—	—	404,456
受取交付金	556,550	—	—	—	556,550
雑収益	1,782	—	—	—	1,782
経常収益計	1,087,289,320	52,351,328	9,555,366	—	1,149,196,014
(2) 経常費用					
事業費用	1,105,999,314	35,696,921	—	—	1,141,696,235
管理費用	—	—	15,587,577	—	15,587,577
経常費用計	1,105,999,314	35,696,921	15,587,577	—	1,157,283,812
(うち人件費)	334,870,152	12,183,922	5,238,725	—	352,292,799
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 18,709,994	16,654,407	△ 6,032,211	—	△ 8,087,798
評価損益等計	36,000	△ 1,210,000	△ 1,428,000	—	△ 2,602,000
当期経常増減額	△ 18,673,994	15,444,407	△ 7,460,211	—	△ 10,689,798
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用					
什器備品除却損	—	—	1	—	1
退職給付引当金繰入	903,515	—	—	—	903,515
過年度損益修正損	360,000	—	—	—	360,000
経常外費用計	1,263,515	—	1	—	1,263,516
当期経常外増減額	△ 1,263,515	—	△ 1	—	△ 1,263,516
他会計振替額	8,083,519	△ 15,583,519	7,500,000	—	—
税引前当期一般正味財産増減額	△ 11,853,990	△ 139,112	39,788	—	△ 11,953,314
法人税等	—	2,013,200	—	—	2,013,200
当期一般正味財産増減額	△ 11,853,990	△ 2,152,312	39,788	—	△ 13,966,514
一般正味財産期首残高	△ 13,303,986	130,555,009	163,227,891	—	280,478,914
一般正味財産期末残高	△ 25,157,976	128,402,697	163,267,679	—	266,512,400

科	目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
II	指定正味財産増減の部					
	基本財産運用益	205,400	—	205,400	—	410,800
	特定資産運用益	1,358	—	—	—	1,358
	過年度損益修正益	360,000	—	—	—	360,000
	一般正味財産への振替額	△ 11,724,758	—	△ 205,400	—	△ 11,930,158
	当期指定正味財産増減額	△ 11,158,000	—	—	—	△ 11,158,000
	指定正味財産期首残高	112,468,050	—	40,000,000	—	152,468,050
	指定正味財産期末残高	101,310,050	—	40,000,000	—	141,310,050
III	正味財産期末残高	76,152,074	128,402,697	203,267,679	—	407,822,450

貸 借 対 照 表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資産の部			
1 流動資産			
現金 預 金	102,247,347	143,825,009	△ 41,577,662
未 収 金	34,772,429	26,022,118	8,750,311
前 払 金	102,300	-	102,300
流動資産合計	137,122,076	169,847,127	△ 32,725,051
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	60,000,000	59,964,000	36,000
定期預金	-	36,000	△ 36,000
基本財産合計	60,000,000	60,000,000	-
(2) 特定資産			
船舶	10,800,000	10,800,000	-
船舶減価償却累計額	△ 10,799,988	△ 10,799,988	-
退職給付引当資産	25,065,310	24,161,795	903,515
減価償却引当資産	30,773,465	32,666,220	△ 1,892,755
事業運営強化資産	63,210,000	64,420,000	△ 1,210,000
経営安定化資産	109,013,000	110,441,000	△ 1,428,000
スポーツ振興基金積立資産	522,123	560,755	△ 38,632
スポーツ振興基金資産	67,711,930	79,229,930	△ 11,518,000
法人周年事業等運営資産	14,000,000	14,000,000	-
国民スポーツ大会関連事業資産	6,000,000	6,000,000	-
アイススポーツ振興事業等資産	598,112	598,112	-
スポ少競技別交流大会事業資産	1,000,000	1,000,000	-
特定資産合計	317,893,952	333,077,824	△ 15,183,872
(3) その他の固定資産			
車 輛 運 搬 具	7,262,055	7,262,055	-
車両運搬具減価償却累計額	△ 7,262,052	△ 7,262,052	-
什 器 備 品	11,287,749	14,550,414	△ 3,262,665
什器備品減価償却累計額	△ 10,114,742	△ 12,908,226	2,793,484
船 舶	2,378,200	1,430,000	948,200
船舶減価償却累計額	△ 705,063	△ 276,833	△ 428,230
その他の固定資産合計	2,846,147	2,795,358	50,789
固定資産合計	380,740,099	395,873,182	△ 15,133,083
資 産 合 計	517,862,175	565,720,309	△ 47,858,134
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	62,387,083	84,564,983	△ 22,177,900
未 払 法 人 税	2,013,200	2,449,400	△ 436,200
前 受 金	1,249,800	2,574,800	△ 1,325,000
預 り 金	4,222,670	3,669,568	553,102
賞 与 引 当 金	15,101,662	15,352,799	△ 251,137
流動負債合計	84,974,415	108,611,550	△ 23,637,135

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
2 固定負債			
退職給付引当金	25,065,310	24,161,795	903,515
固定負債合計	25,065,310	24,161,795	903,515
負債合計	110,039,725	132,773,345	△ 22,733,620
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
スポーツ振興基金	67,711,930	78,869,930	△ 11,158,000
寄付金	73,598,112	73,598,112	—
受贈船舶	8	8	—
指定正味財産合計	141,310,050	152,468,050	△ 11,158,000
(うち基本財産への充当額)	(52,000,000)	(52,000,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(89,310,050)	(100,468,050)	(△ 11,158,000)
2 一般正味財産	266,512,400	280,478,914	△ 13,966,514
(うち基本財産への充当額)	(8,000,000)	(8,000,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(203,518,592)	(208,447,979)	(△ 4,929,387)
正味財産合計	407,822,450	432,946,964	△ 25,124,514
負債及び正味財産合計	517,862,175	565,720,309	△ 47,858,134